



学校だより

互いのよさを認め支え合い協働する児童の育成に向かって



発行日
R4.7.15
発行者
新垣 典彦

平和の日 式典に参加



追悼の様子

町ジュニアリーダー

5月21日(土)は、与那原町民平和の日となっており、旧軽便与那原駅舎前で行われた式

典に参加しました。人数制限したとはいえ約90名の方々が参加し、犠牲者への追悼も行われました。



戦時中の駅舎

現在の駅舎(資料館)



町公式LINE

町民アンケート:与那原町民平和の日(5月21日)を知っている町民は22%[19年比60%減]と減少

式典に照屋町長も参加し挨拶、「与那原町ジュニアリーダー」の皆さんによる平和メッセージや「うんたまむい合唱団」の皆さんの歌(3曲)の披露がありました。内容も短縮したようですが私にとっては「素晴らしい」の一言です。まだの方は、是非参加してみてください。それと、合奏団に東っ子がいなかったのは少し寂しい日曜日の午後、コミュニティセンターで練習しているようです。興味のある方は、一度覗いてみては!?

福祉の街に学ぶ



4学年

6月8日(水)は、町社会福祉協議会の方を招いて、福祉についての講話を聞いた4年生の皆さんです。



ポイントを確認し合う



見て下さい。この真剣な表情を!!さすが東っ子です。

ゴミの行方にも注目



4年1組

4年生の興味はまだまだ広がります。6月8日同日に、ゴミ収集について学びました。実際に家庭から持ち寄ったゴミを活用してゴミの分別を体験しました。



4年2組



その日の午後には「パッカー車」が登場し、興味津々の4年生です。操作の体験には、手を挙げ身を出して前に出る。なかなかできない体験ですからね。

出して前に出る。なかなかできない体験ですからね。

避難訓練〔火災〕



3学年

2学年

6月24日(金)には、避難訓練〔火災〕を実施しました。「おかしなもち」を合言葉に、慌てず行動する子供達でした。沖縄では毎日のようにどこかで火災がある〔令和元年500件弱〕こと。町内でも2年に1度程度、新聞に載るような大きな火災がある〔アパート、団地〕ことを伝えると驚いた顔をする子もいて、ご家庭での注意も促しています。【火の用心】

戦争を考える



4学年

戦後、77回目の6月〔慰霊の日〕を迎え、戦争体験

者の講話を通して平和について考えました。「戦争は怖い」「周りの人と仲良くしたい」など、自分の身に置き換えて考える姿が見られました。講師の山内俊春さん、大城朝次郎さん、新垣庸一郎さん、ありがとうございました。

授業研究会

コロナ禍で減少していた校内や近隣校等での研修や授業研究会が活発になってきました。その際、下校時刻の変更で保護者や学童等、ご協力に感謝しております。一例ですが紹介します。

6年3組



ご承知の通り、学習指導要領が改訂(平成29年告示)され、以下に示されるように子供の姿を重視した内容に整理されました。

- ◇「何を理解し、何ができるか(知識・技能)」
- ◇「理解していること、できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)」
- ◇「学びを人生や社会に生かそうとする(学びに向かう力・人間性等)」

授業においては「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し授業研究会を実施しています。平たく言うと「課題を見つけ、自分事として考え、周りの意見を聴きながら判断し、よりよい解決方法を導き出す授業」となるでしょうか。その実現のため本校では以下のテーマを設定し、算数科を中心に授業改善を進めているところです。今後ご協力よろしくお願ひします。

主体的に課題解決に向かう児童の育成
～数学的活動における学び合いを通して～